



令和3年度 第10号

やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2022年3月3日

■ 理事長あいさつ

令和3年度理事長 松浦 克次

本年度は対面授業再開に向けた方針の決定と準備を中心に理事長として職務を全うして参りました。

昨年の春から夏にかけて現地校で対面授業が再開されましたが本校に借用してもよい、という学校は当時皆無でした。この時から既に借用のリクエストを様々な学校に行っておりましたが、現地校内のドタバタで全く進展はなく歯がゆい時間が残酷に流れたのを憶えています。

未曾有の事態にあっては人それぞれが自身の価値観で物事を捉えるようになり答えが一つでない状況はパンデミックの発生以降色々な場面で目にします。多様な価値観や意見が交差する中、補習校の対面授業再開へのプランを進めていく過程でどの道を選ぶべきか、難しい判断をしなければならないことがありました。

判断を迫られる場面で、改めて補習校の魅力について理事会内で議論を重ねました。本校の魅力はやはり”日本文化の中で集団生活を送りながら日本の教育を受けられること”でした。そのためには対面授業再開をできるだけ早期に実現させる必要があるという結論に至りました。

これを軸に借用校の状況、現場で教鞭をふるう先生方や運営をしていただく事務のみなさま、そして保護者のみなさまの意見を踏まえて各校ごとにことなる対面授業再開プランが実行されました。ご満足頂けない方がいらっしゃることは承知の上でも一歩ずつ物事を進めていく必要がありました。ご不憫な思いをされた方に対して、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

理事会の方針は対面授業の再開です。状況は刻一刻と変わっているのでまだまだ予断を許さない状況ではありますが、全校が来年度から対面で始められるように理事会で出来ることを一つずつ進めております。引き続き保護者の皆さま、教職員ならびに学校運営者の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

本校は、日本的な行事を通して、日本社会に適応できる素地を作り、かつ国際社会で活躍できる、真のグローバル人材の育成を目指しております。私は本年度で3年の任期を終え理事を退任いたしますが、これからも本校に通う子供たちの未来がもっと光り輝くよう、陰ながら彼らを手助けしていけたらと思います。



この度、文部科学省派遣教員として3年間の任期を終えて帰国することになりました。在任中は多くの方々のご協力をいただき、大変ありがとうございました。

渡米1年目の前期はサンフランシスコ日本語補習校開校50周年の記念式典準備に追われながらも、4校をそれぞれ訪問し子どもたちや先生方と充実した時間を共有できました。しかし、年が明けて令和2年になると、世界中に感染症の脅威が訪れたことにより、校舎借用が困難となり卒業式が開催できずに年度を終えたことは、卒業生に申し訳なく思っています。そして、新年度からはShelter-in-place orderに対応した授業を構築するため、多くの方々のお力と先生方の授業研究により2年間のオンラインによる授業を継続することができました。

振り返りますと、50周年記念式典の開催とコロナ対応による学習機会の継続に努めた3年間だったと思います。サンフランシスコを拠点に生活する中で、教育現場だけでなく多くの場面で、「他を認め合う」言い換えれば「ほめて育てる」行為を目にすることができました。広大な大地と多様な人々が暮らす上で培ったアメリカ文化の魅力の一つと感じました。一方、繁華街のみならず現地校の敷地内でのゴミの多さや、配慮に欠ける接客態度には驚かされました。そんな中、現地校での生活が圧倒的に多い子どもたちに、「時を守り、場を清め、礼を正す」という日本の学校文化を伝えたいと考えるようになりました。また、コロナ禍の生活を通して、子どもたちが他から何事かをしてもらうことを望むのではなく、自ら人や物事に対して関わっていく意欲をもって欲しいと思いました。心身ともに自己免疫力を鍛え、治癒力をしっかり持った自立した人に成長して欲しいと願っています。

サンフランシスコ日本語補習校は、これからも保護者や理事会・教員や地域の方々、子どもたちを温かく励まし合いながら、自立を促す場で在り続けていくことを願っています。3年間ありがとうございました。



「サンフランシスコ（以降SF）日本語補習校に赴任してからあつという間の3年間でした。」派遣教員ならば、誰でも感じて終わる言葉だと思いません。それほど、SF日本語補習校は児童生徒・保護者・教職員が三位一体となっている素晴らしい学校でした。この3年間は、出会って関わった皆様方に、感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。

私がSFに滞在した2019年4月から2022年3月までに、2つの大きな出来事があり、私の人生でのエポックメイキングとして残りました。それは、50周年記念行事とコロナウィルスの出現です。

一つ目の「50周年記念行事」に関しては、計画・進行の責任者として関わらせていただきました。半世紀にわたる歴史と伝統の確かな礎として残す役目を与えられて、それを成功裏に終えることができたことは、ひとえにかかわった児童生徒・保護者・教職員の皆様の三位一体となったご協力の賜物でした。特に、ボランティアとして裏方で支えていただいた保護者の皆様には、本当に感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。



二つ目は、コロナウィルスによるパンデミックです。2020年3月13日の金曜日、まさにその年度の卒業式の前日に、SFは外出禁止令が強化されて、無情にも卒業式が中止になってしまいました。

その無念のときから約2年間、今もその影響が続いています。しかし、SF日本語補習校は、2020年5月から、オンライン授業が開始できたのです。そこに行きつくまでのITの方々や先生方の献身的な努力に接することができ、改めて世界の最先端のIT地域であるSF周辺の実力に敬服した次第です。

オンラインでの授業内容も、世界で一番と誇れるぐらいの素晴らしさ！毎週ZOOMでSF地区とサンノゼ（以降SJ）地区を交互に授業を観察して、所見を先生方にお伝えしていましたが、巡回して観察するごとに先生方の授業が子供達と共に歩むような授業へと進化していったのには、先生方の「子供達に少しでもわかる授業を」という努力に頭が下がる思いです。

コロナの蔓延が継続し続ける中「これは、帰国するまでオンライン授業が続くのでは」と半ばあきらめの境地になっていました。しかし、中高部SF校が突破口となり、昨年11月13日からついに対面授業を復活できたことは、これもまた、エポックメイキングな出来事でした。その復活劇でも、先生方の子供達に対する強い思いと、それを実現化するITサポートの方々の素晴らしい「これぞサポート」という献身的な支援で、世界中の日本人学校や補習校でも初めてではないかと思う「ハイブリット式授業」を実現できたことは、とても誇りに思います。

現在では、中高部SF校に続いて中高部SJ校、幼小部SJ校も対面授業を行っています。私は、オンライン授業での素晴らしさも感じながらも、対面授業で、直接子供達と会って授業をする喜びは、やはり教師として最高の喜びであると改めて思いました。それ以降、子供達に会うためには「絶対にコロナウィルスに罹患しない」という強い意識のもと、安心と安全にこれまで以上に留意しながら毎日を過ごしました。そして、毎週子供達に会えて、最後に最高の思い出をつくることができました。本当にありがとうございました。

サンフランシスコ日本語補習校 永遠に!!

■ 中高部サンフランシスコ校借用校変更のお知らせ（3月5日・12日）

中高部サンフランシスコ校の借用校は、2月19日（土）以降 Presidio Middle Schoolとなりますので、登校に際してはお間違えのないようご注意ください。

Presidio Middle School
450 30th Avenue, San Francisco, CA 94121

■ 令和3年度幼稚部・小学部・中学部・高等部卒業証書授与式について

令和3年度サンフランシスコ日本語補習校幼稚部・小学部・中学部・高等部卒業証書授与式を下記の通り挙行いたします。対象の保護者の皆様には、何かとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。

日時：各校とも 令和4年3月12日（土）

	サンフランシスコ校	サンノゼ校
幼稚部	時間：午前9時～午前9時30分 場所：オンライン（各自宅） 証書等お渡し：午後12時30分～ 場所：Lawton Alternative School	時間：午後1時～午後1時30分 場所：J.F. Kennedy Middle School （パビリオン） 下校：午後1時50分
小学部	時間：午前9時～午前10時 場所：オンライン（各自宅） 証書等お渡し：午後12時30分～ 場所：Lawton Alternative School	時間：午後2時～午後3時15分 場所：J.F. Kennedy Middle School （パビリオン） 下校：午後3時30分
中高部	時間：午前9時～午前10時 場所：Presidio Middle School （オーディトリウム） 下校：午後12時15分	時間：午前8時55分～午前10時30分 場所：J.F. Kennedy Middle School （パビリオン） 下校：午後12時15分

幼小部は開式時刻の15分前までに、中高部は10分前までにご入場ください。

■ 3～4月の行事予定

日付	サンフランシスコ校	サンノゼ校
3/5 (土)	文化祭 (中高部)	幼稚部対面保育・小5～6対面授業
3/12 (土)	卒業式・修了式	卒業式・修了式
4/9 (土)	入学式・始業式	入学式・始業式 (幼小部) 始業式・授業 (中高部：オンライン)
4/16 (土)	小1：4時間授業開始	小1：4時間授業開始 入学式・授業 (中高部)
4/23 (土)	避難訓練 中学入試説明会 (小学部)	避難訓練

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。発行人：松浦克次
 San Francisco Japanese School 22 Battery Street, #612, San Francisco, CA 94111 電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542
 電子メール：理事会・事務局 office@sfjs.org 学校 sfjs@sfjs.org ホームページ：<https://sfjs.org>
 理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等にはお答えしておりません。
 無断複製・転載を禁ずる。© San Francisco Japanese School 2022 All Rights Reserved.